

令和7年度湖南省市立中学校 部活動地域展開推進協議会(第1回)まとめ

■ 協議会の目的

- ・湖南省では、少子化や教員の働き方改革を背景に、中学校の部活動の在り方を見直し、「地域クラブ」へと段階的に移行していく方針を定めています。
- ・この協議会では、関係者間の連携を強化し、地域展開の実現に向けた課題や仕組みづくりを協議することを目的としています。

■ 主な議論の内容

1. 地域展開の基本方針と背景

- ・教員の負担軽減だけでなく、子どもたちに多様な文化・スポーツの活動機会を保障するための取り組み。
- ・特定の部活動だけでなく、新しい文化活動やニュースポーツの導入も視野に入れている。
- ・市としては、活動が困難になる前に先手を打ち、地域クラブ化を段階的に進める。

2. 地域での活動イメージと段階的な展開

- ・「すべての部活を地域に移す」のではなく、まずは可能な部活動から地域展開を始める。
- ・特に休日の活動からスタートし、平日の活動についても検討していく。
- ・剣道をモデルに、複数指導者体制や指導記録の引継ぎなどを進めている。

3. 文化活動への広がり

- ・体育系の部活だけでなく、音楽、美術、茶道、手芸などの文化系活動への展開が必要との意見が多数。
- ・地域に既に活動している団体(例:ジュニアバンド、地域オーケストラ等)との連携の可能性を探る。

4. アンケート実施に向けての意見

- ・児童(小学5・6年生)、中学生生徒、その保護者、教職員を対象にしたアンケート6月下旬に実施予定。
- ・「何が課題で、何が期待できるか」といった具体的な内容に踏み込んでいる。
- ・「知らない指導者への不安」「けがをしたときの責任」などを問う設問の追加が提案された。

5. 地域指導者と安全・責任の整理

- ・地域指導者の資格や責任の所在(事故時の対応等)について、保護者・地域双方から不安の声あり。
- ・教育委員会として、保険加入・責任の明確化・連絡体制整備などのルール作りが必要。

6. 教員の関わり方と制度上の課題

- ・地域クラブでも、意欲ある教員が指導に関われる仕組みが必要。
- ・現行制度では、教員が地域クラブで活動するには兼職兼業届が必要。
- ・指導に対する謝金や制度整備も今後の課題。

■ 委員からの主な意見・提案

● 現場の教職員より

- ・地域展開に対して現場ではまだ理解が進んでいない面もある。
- ・明確なスケジュールや段階的な計画が示されれば、混乱は少ない。

● 保護者代表より

- ・地域展開により、活動の選択肢が増えることは歓迎。
- ・一方で、送迎や費用負担、安全面への配慮が必要。
- ・保護者の中にも資格を持ち、協力できる人がいる可能性がある。

● 地域団体より

- ・子どもたちの「やりたい気持ち」に応える仕組みが大切。
- ・多様な活動が選べるような柔軟な体制づくりを。
- ・文化活動や障がい者スポーツなどの拡大にも期待。

■ 今後の予定

- ・6月下旬：中学生・保護者・教職員向けアンケートを実施予定
- ・8月：第2回協議会（アンケート結果の分析と共有）
- ・11月：ガイドライン案の協議
- ・令和8年2月：推進計画の完成を目指す

■ まとめ

湖南省では、地域の現状やニーズを丁寧に把握しながら、持続可能な仕組みとして部活動の地域展開を進めています。教職員、保護者、地域関係者が連携し、湖南省らしい形での新しい部活動のかたちを模索していきます。